

# 「福井アリーナ（仮称）」・「福井県立大学キャンパス」等の整備支援に関する要望

令和 7 年 1 2 月 1 5 日

福井県・福井市

## 「福井アリーナ（仮称）」の整備支援について

本県は、令和6年春の北陸新幹線福井・敦賀開業から2年目を迎え、アクセスが格段に向上した東京をはじめ、生活文化面でつながりの深い中京や関西から新たな人を呼び込み、県全域へ波及させるため、持続的に「稼げる」経済の創出や、若者・女性にも選ばれる地方の創出が重要と考えています。

こうした中、県都の将来像を構想する「県都グランドデザイン」において、プロスポーツやコンサート、MICEなど多様なイベントにより、県内外から人の流れを生み出し、県内全域へ広げていく新たなにぎわいの拠点となるアリーナ施設を福井駅周辺に整備することを打ち出しました。福井商工会議所を中心に県内企業が丸となって、人口減少社会における地域間競争に打ち勝つための強い決意をもってこのプロジェクトを進めており、県・福井市とも全力で応援していく所存です。

この事業は、官民連携による雇用拡大や地域経済の好循環を促し、地方創生につながる全国のモデルケースとなると考えており、その整備に対し、「地域未来交付金（拠点整備事業）」について特段のご配慮をお願い申し上げます。

令和7年12月15日

福井県知事職務代理者

福井県副知事 中村 保博

福 井 市 長 西行 茂

## 「福井県立大学キャンパス」等の整備支援について

北陸新幹線福井・敦賀開業により、東京・中京・関西とのアクセスが飛躍的に向上し、地域発展の大きな転機を迎えています。しかし、人口減少や産業構造の変化が進む中、地方が持続的に成長するためには、地域産業の高度化と人材育成の強化が重要です。特に、社会や産業の変化に対応できる新しい知識や技能を身につける機会を充実させることは、地方の競争力を維持するために不可欠です。加えて、国際化の進展に対応するため、海外との交流促進も重要な課題となっています。

こうした中、福井県立大学では、県内企業の要請等も踏まえ、福井駅周辺に新学部のキャンパスを開設し、学び直しの機能や企業・県民が利用できるスペースを整備します。さらに、国際化のための拠点を整備し、学生・研究者・企業関係者・県民が集う「学びと交流の場」として開かれた拠点を目指します。

これらの取組みにより、地域に根差した人材育成と地元定着を促進し、教育・産業・地域の連携を強化することで、地方創生のモデルケースとなるものと考えております。

つきましては、その整備に対し、「地域未来交付金（拠点整備事業）」について特段のご配慮をお願い申し上げます。

令和7年12月15日

福井県知事職務代理者 福井県副知事 中村 保博